

調査研究報告書の発行にあたって

全国健康保険協会は平成 20 年 10 月に設立され、今年で 16 年目を迎えます。

当協会は、主に中小企業で働く方とそのご家族の皆様を中心に約 4,000 万人の加入者と約 260 万の事業所からなる日本最大の医療保険者として、我が国の国民皆保険制度の一翼を担っています。

当協会では、今年度が最終年度となる「保険者機能強化アクションプラン（第 5 期）」において「調査研究の推進」を掲げ、外部有識者の皆様方のお力添えをいただきながら、当協会が保有する医療費・健診データ等を活用した調査研究を進めております。当協会において、加入者の健康度の向上や医療費適正化に資する取組を実施していくにあたり、「データ分析に基づく事業実施」に努めており、当該調査研究の成果を踏まえて各種事業に取り組んでおります。

また、調査研究の成果の普及にも力を入れており、本年 6 月に「第 9 回調査研究フォーラム」を開催し、協会職員によるデータ分析や分析に基づく取組の発表に加えて、令和 2 年度から開始した「外部有識者を活用した調査研究事業」第 I 期の調査研究成果の最終報告を行いました。加えて、各種学会においても協会職員が実施した調査研究成果の発表を行っております。

当協会における 1 年間の調査研究の成果を広く情報発信していくため、本報告書を取りまとめました。本報告書には、上記の「外部有識者を活用した調査研究事業」の最終報告を含む 14 本の調査研究成果を収録しております。

本報告書を皆様にご高覧いただき、各調査研究の成果を国民の皆様の健康づくりや研究活動等に活かしていただければ幸いです。

令和 5 年 12 月

全国健康保険協会
理事長 北川 博康